

# 使用 説明書

## 手動式シールプレス

《機能向上のため予告なく仕様変更することがあります。》

■印面ダイブロックは従来の物とは違い図-3のように上押し・下押し・右押し・左押しと、プラスドライバー及びL型レンチで印面の向きが変えられます。

### 1. 操作 (図-1 参照)

用紙を隙間②に挿入してハンドル①を手前に倒します。上記の操作により用紙に文字・マーク等がプレスされます。プレスされましたら元の位置までハンドル①を戻し、用紙を手前に取り出して下さい。

— 以上で操作は終了です —

※ハンドル①を手前に倒す際に力が足りませんとシールが不鮮明になることがあります。極端に薄い用紙などをプレスすると、印面オスまたは印面メスに用紙がくっついてしまうことがあります。印面オスに用紙がくっついた場合は、用紙をゆっくり上に持ち上げて取り出して下さい。印面メスの時も、逆に下方向へ用紙を同じくゆっくりはがして下さい。なお、いずれの場合も用紙をはがす時に、用紙が破れることがあります。

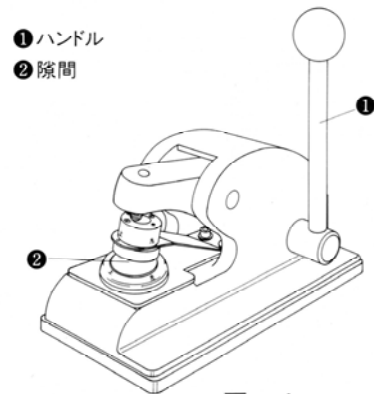


図-1

### 2. シールする位置を変えたい場合 (図-2・図-3・図-4 参照)

※シールする位置を変えるには印面の方向を変換しなくてはなりません。但し、80mm×80mm以下の用紙でしたら印面の方向変換の必要はありません。

#### ■印面方向変換の仕方

- 1: 図-2のように印面ダイブロック⑤を上方向に持ち上げ手前に引き出します。
- 2: 図-3-C/⑨の印面方向固定ネジ2本を付属のL型レンチでゆるめます。次に、変更したい向き(上下左右の文字)に⑧のインジケーターに合わせて、⑨の印面方向固定ネジを締め付けて下さい。
- 3: 図-3-Bのように印面ダイブロック裏側のネジ⑦をゆるめます。

注: ⑦のネジは取り外さずにゆるめるだけにして下さい。

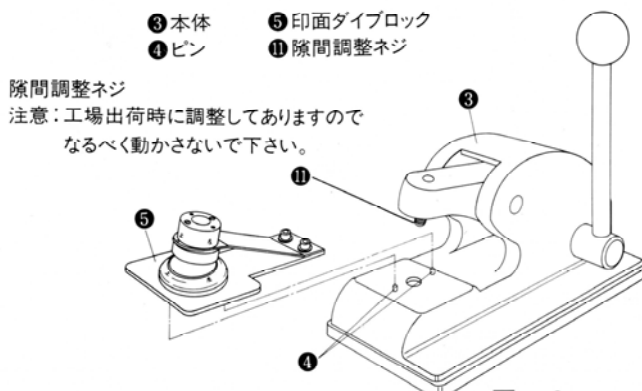


図-2

- 4: 印面オスを回転させ、上記3で変更した位置(上下左右の文字)に合せます。次に、⑩の印面押さえを押し下げると同時に、印面オスを上方向に浮かせながら左右に少しずつ回転させて、印面メスと印面オスの凹凸を合わせます。☆: 凹凸が合ったときに感触があります。

注：印面オス・メスの凹凸がずれたままシールしますと、印面オスが破損しますので充分注意して必ず凹凸が合うようにして下さい。

印面オス・メスの凹凸が合いましたら、そのままの状態⑩の印面押さえを下方方向に押し付けて、⑦のネジを締め付けて下さい。

5：本体③のピン④に印面ダイブロック⑤の裏側のピン穴⑥を必ず合わせてセットして下さい。

注：ピン④とピン穴⑥を合わせずに（印面ダイブロックが浮いた状態など）セットすると、本体及び印面ダイブロックの破損原因となりますので充分注意してください。

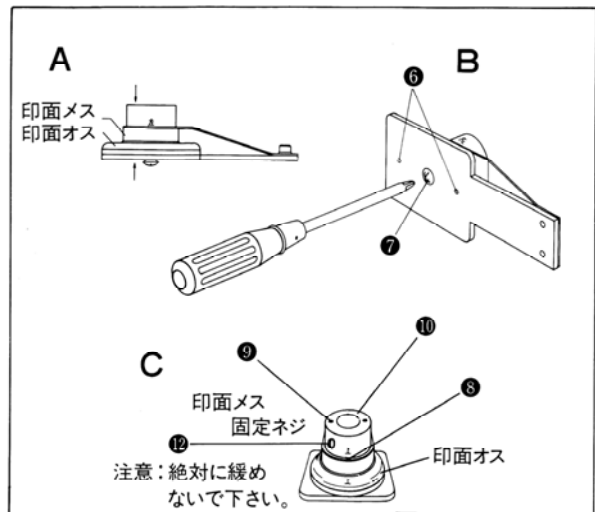


図-3

- ⑥ ピン穴
- ⑦ ネジ
- ⑧ インジケーター
- ⑨ 印面方向固定ネジ
- ⑩ 印面押さえ
- ⑪ 印面メス固定ネジ

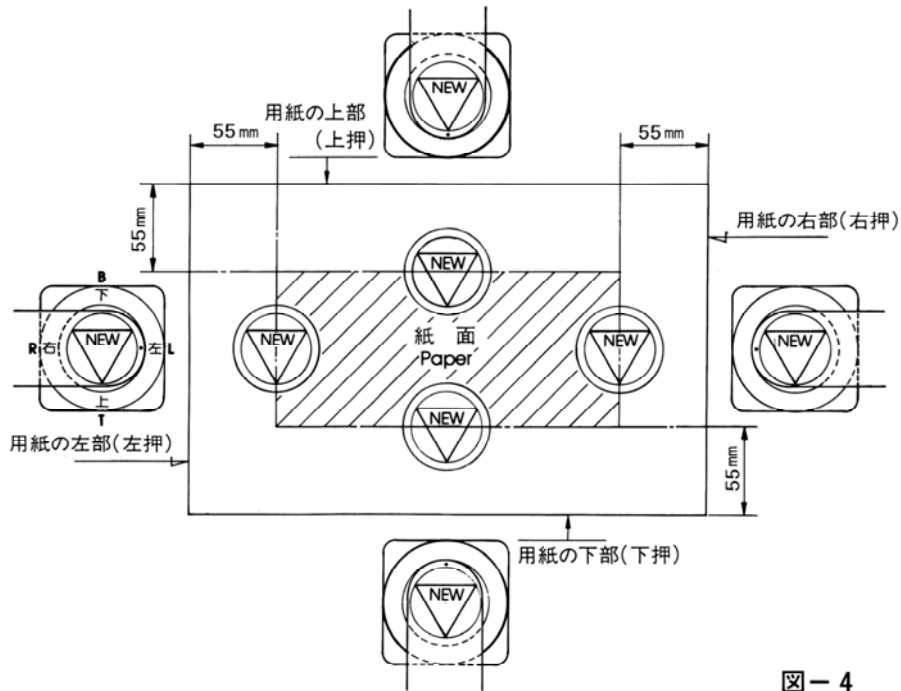


図-4

### 《ご使用上の注意》

◎ハンドル①を20kgぐらいの力で手前に倒しますと、上下の印面の間には1 t近い力が出ますので、用紙以外の物は絶対に挿入しないで下さい。

もし紙以外の堅い物（ホッチキスの針・プラスチックなど）をシールしますと印面オスの破損原因になりますので注意して下さい。

◎ 手などは絶対に挿入しないよう充分注意して下さい。